

(資料)

2001年8月12日 国際青年デーにあたってのICAからのメッセージ

8月12日、2回目の国際青年デーが世界中で祝福されます。若者は人口の18%を構成し、社会の変化、経済発展そして技術革新の鍵となる人々（エージェント）であるのと同様に、発展／開発のための主要な人的資源であると認識されており、この日は重要な日です。

2000年12月、ICAの理事会は、協同組合運動の将来を保証するため、協同組合が若者を引き付け、参加させることの必要性を公式に認め、理事会とICAが青年についての討議を促進することを明言しました。同時に、協同組合運動の実践に寄与する中で、若者は、協同組合の価値：公正・平等・民主主義といったものが、彼らにとっても促進しようと追求してきたものであり、強い関心を表してきたものであることを認識しました。

国際青年デーにあたって、ICAは、協同組合人の皆さんに、世代間の経験の共有を促進する時であることを思い起こしていただきたいと思います。今日の協同組合人は、若者に知られ、そして若者にとって魅力のある協同の生活様式をつくる責任があります。そうすることで、協同組合人の新世代は、協同組合の仕事を継続・発展させることができるのです。若者は、世界のすべての人のため、世界規模の仕事をつくることに貢献するでしょう。若者は、不正に対して闘い、不平等や貧困を減らすために国際的に協力し合うでしょう。そして若者は、過去100年以上に渡り世界中の協同組合人が行ってきたように、協同組合の価値を未来に向かって守り、促進するでしょう。

この日を祝し、ICAは各会員に、

- ・会議や大学のカリキュラムを通じて、協同組合の哲学や事業の方法について教育する
- ・その協同組合で組合員であることや雇用についての魅力を若者に対して高める、そして
- ・若者から発案された協同組合運動のための革新的なアイデアを奨励する

よう、努力を継続することを要請します。

ICAはまた、若い協同組合人が、彼らの価値を他の人々と共有し、すべての人が手に入れることのできる一定水準の生活をつくるため、世界的に共に働く方法を継続的に追求することを支援したいと思います。

2001年8月10日

